

# 第18期 まちづくり大学

## ごみ処理場見学

令和4年10月28日(金)13時~17時

### 施設案内

大阪狭山市市民生活部生活環境グループ 中尾主査  
大阪狭山市市民活動支援センター 早野、松田、伊勢田  
大阪狭山市公民連携G 泉谷主任  
大阪狭山市福祉G 大平手話通訳人  
まちづくり大学出席者 12名(M8、F4)  
欠席者 7名

まちづくり大学では、資源リサイクルセンターと南河内環境事業組合第一清掃工場の2か所のごみ処理施設を見学しました。

### 1. 資源リサイクルセンター

大阪府南河内郡河南町大字山城165  
講師 藤野興業(株)



ごみ減量を達成するため、廃棄物の発生・排出抑制「リデュース」、使用済みの製品の再利用「リユース」、回収したものを原材料として使用する「リサイクル」の3Rを実行しており、その資源リサイクルの一翼を担っているのが、この資源リサイクルセンターです。

南河内6市町村から収集されたカン、ビン、ペットボトル、プラスチック類の資源ごみを、選別・分別・破碎・圧縮等の中間処理をして、リサイクル業者や容器リサイクル法指定法人に売却している。

#### ① カン・ビン

ビンは、分別し無色・茶色ビンはビン製造業者に売却、その他の色は以前廃棄物としていたものを、破碎プラントで砕いて粒状にし、鋭利な角はすべて磨かれて安心した製品にして、滑り止め舗装用骨材・道路舗装・グレーチング・サンドアート・砂絵・陶芸の材料等に使用している。

カンは、アルミ・スチールに分別し、圧縮して金属業者に売却している。

## ②ペットボトル

人力でキャップ・ラベルを除去したのち、圧縮して容り法指定法人である再生業者に売却。衣類、作業着、カペット等の繊維に再生。また、事務用品、パレット、側溝、ペレットとして製鉄の燃料等に再生している。

## ③その他プラスチック類

異物除去後に、圧縮して再生プラスチックとして再利用されている。

現在のところ、大阪狭山市では分別回収を実施していないが、プラ類のごみに占める割合が大変多く、今後分別回収に移行することを検討中。

リサイクルは、収集、選別等に市から多額の費用を支払っている。そのため、今後はリサイクルではなく、むしろ大量発生抑制の取り組み必要があります。

リサイクルの要点は、確実に分別を行い、きれいに洗うことです。

## 2. 第一清掃工場

富田林市大字甘南備 2345

講師 南河内環境事業組合

総務企画課

西尾 順治、辻 彰



南河内7市町村で、燃えるごみ、粗大ごみを焼却する目的で、「南河内環境事業組合」が S42 年に設立され、S45 年に第一工場(老朽化して S60 年に建て替え)、H12 年に第二工場が建設された。

(H22 年に旧美原町脱退し、6 市町村で運営)

第 1 工場は、大阪狭山市、富田林市、河南町、太子町、千早赤阪村の 5 市町村 309,702 人のごみを受け入れており、週 2 回の燃えるごみ、月 2 回の粗大ごみを焼却処理している。

第 2 工場は河内長野市のごみを処理している。

第 1 工場の焼却能力は 150 トン/24 時間×2 炉、破砕機は 50 トン/5 時間×1 基 日立造船製

R3 年度処理実績 81,000 トン/年

処理費用 17,000 円/トン

人員構成 総数 107 名 その内、運転他を業務委託し 63 名が対応している。

早くから、すべての市町村で、平成 8 年シール制度を導入し、ごみ減量にも協力している。

## 工場の特長

### ①環境保全対策

- 排出ガス対策 →電気集塵器、有毒ガス除去装置、空気ガス混合器を使用
- 排水対策 →処理後、場内で再利用
- 防臭・防音対策→ダイオキシン対策で高温 900～1000℃焼却、完全焼却による防臭対策、騒音対策

②焼却炉の余熱利用で場内の給湯・暖房・発電(980KW, 場内使用電力の 75%を供給)

③有毒ガスから工業塩を生産

## 焼却コストとごみ減量による経費削減

持ち込まれたごみは、入り口で重量を計算され、各市町村単位の年間総重量比で各市町村の年間負担額が決まります。

大阪狭山市の R3 年度負担金は、294,566,957 千円(5,048 円/人)。

前年に比べて減額しており、市民の皆様のご協力のお陰で、南河内 6 市町村の中で、一日一人当たりのごみ排出量が、長年ワースト 1 であったのが、市民の協力のお陰で、ごみ減量が進み、去年は 2 番となった。

ごみの排出量で負担金は増減します。今後さらに市民一人ひとりがごみ減量に取り組み、ごみ処理費用を減額し、近年大幅に増額している福祉・子育てなどの費用に充当するべきではないでしょうか。

以 上